



西桂町



VOL.
90

議会だより



10月1日 保育所運動会

げんきいっぱい、
力を合わせて！

- 議会報告会 2～5
- 27年度の決算は 6～7
- 小林町長からの報告 8～9
- 各会計決算 10～13
- 補正予算、条例等の委員会審査内容 14～15
- 一般質問（3名の議員が町政を問う）16～18
- コミュニケーション広場（怒羅衛門ドットコム）19

町政につなげます

5地区の地元住民が参加

109人参加

目 的

議会報告会は、議会活動の状況を地域に出向いて直接、町民に報告・説明し、議会活動に対する意見、町政に対する提言などを聴取する機会として実施しました。なお、報告会開催に際し各区にご協力をいただくとともに、参加者にはアンケートをお願いしました。アンケートの結果及び住民の皆様からのご意見は、必ず今後の町政に反映させていただきます。

議会報告会アンケート結果、及び主な意見

問：議会報告会を聞いて理解できましたか。

大いにできた	できた	できない	無回答	理 由
7人	76人	4人	1人	・丁寧な説明でした。 ・パワーポイントがわかりやすかった。

問：意見交換について、お気づきの点はありますか。

- ・活発な意見が出てよかったです。
- ・今後もこのような活動をお願いします。
- ・町民と議員とのやりとりは勉強になった。
- ・出席者が少ない。

問：CATV 富士五湖による西桂町議会映像を視聴していますか。

毎回見ている	時々見ている	見ていない	無回答	理 由
5人	34人	48人	1人	・放送時間を知らない。 ・時間が合えば見ている。

問：今後の継続放映についてお伺いします。

続ける	続けない	どちらとも言えない	無回答	理 由
27人	19人	40人	2人	・放映料100万円の予算は別にまわしてほしい。 ・家で視聴できるほうがたくさんの人が見るので良いと思います。 ・「議会だより」の充実で対応すれば良い。

- その他の意見
- 1 人数が少ないが続けたほうが良い。
 - 2 空き家対策を考えてほしい。
 - 3 近隣市町村と比べて観光事業が弱いように感じる。

アンケート調査のご協力に感謝申し上げます。

住民の声を

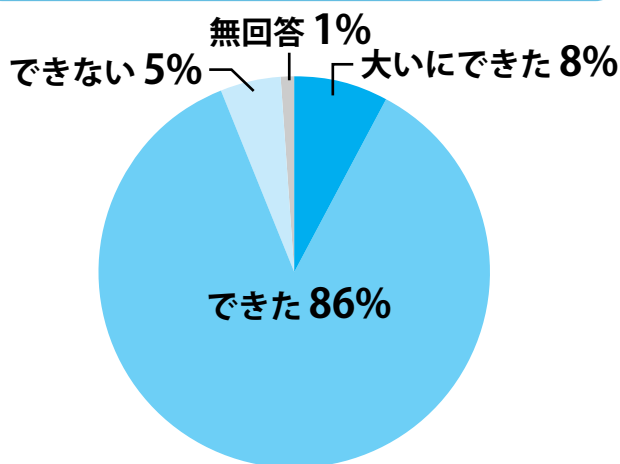
第3回議会報告会を開催

テーマ

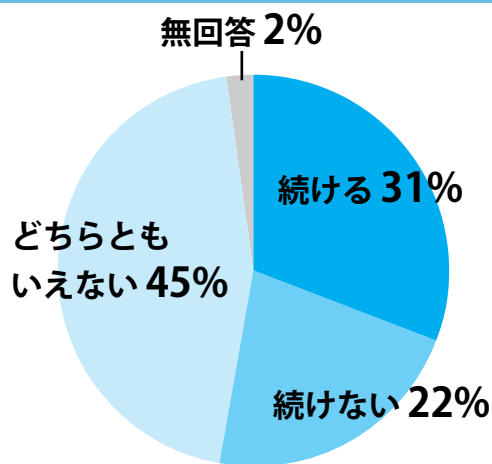
- 1、平成28年度当初予算審議
- 2、平成27年度議員活動状況
- 3、平成27年度一般質問と回答
- 4、町政全般にわたる意見交換

平成28年度議会報告会参加者アンケート集計表

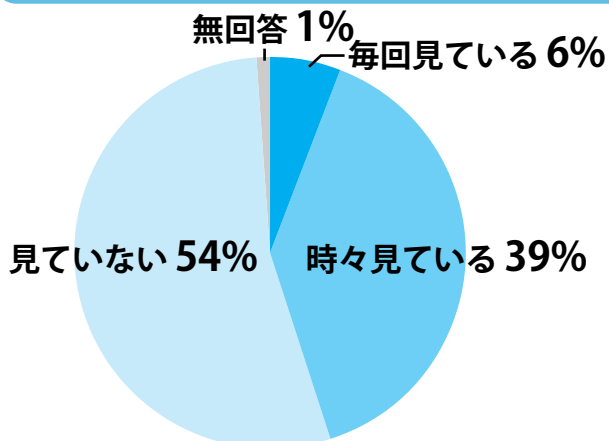
議会報告を聞いて 理解できましたか。



今後の継続放映に ついてお伺いします。



西桂町議会映像を 視聴していますか。



性別

男	女	無回答	計
63人	15人	10人	88人

年齢別

29歳以下	30代	40代	50代
1人	4人	18人	22人
60代	70歳以上	無回答	合計
28人	10人	5人	88人

活動する議会を目指し

各会場でいただいたご意見、
ご提言は速やかに議会活動に
反映します。

① 下暮地地区

日時：7月17日 会場：下暮地公民館
参加者：25名



下暮地住民 地域おこし協力隊について、もう1名の応募は。

議会 ホームページなどネット等で募集していますが、1年更新で3年までですが最終的には当町に移住して頂くことが狙いです。

下暮地住民 人口減少対策について子育て世代に移住してもらえるよう未満児から英語教育をするなど他にない取り組みを執行部に提言して頂きたい。

議会 西桂町では保育料について同時入所の2人目半額、3人目無料となつています。他にも子育てに対する提言をしていきます。

下暮地住民 下暮地地内の通勤通学時、車の通行量が多く学童が迷惑。よい策をお願いしたい。

議会 立看板・ポール等の設置を行なっています。これからの通行速度減速の要請をしていきます。

② 本町地区

日時：7月24日 会場：本町公民館
参加者：14名



本町住民 一般質問で長期的な問題は継続してテーマとしてあると町民がわかりやすいのでは。

議会 今のところ継続的に行政に質問したいという目指すテーマがありません。一般質問のその後として議会だよりに載せていますがテーマをもつてやっていけるようにしたい。

本町住民 耕作放棄地に対するルール作りや地主に対するペナルティーなどをつくり耕作放棄地が少なくなるような方策を取ってほしい。

議会 所有者の権限などがありますが行政に話していきたいと思っています。

本町住民 国道の舗装状態が悪いので改修に向けた動きや予定などは。

議会 全面舗装の予定はないですが、区間を区切つての陳情など活動をしていきます。

③ 倉見地区

日 時：7月27日 会 場：倉見公民館
参加者：20名



倉見住民 通学路の県道718号で車の追い越し禁止やスピード規制をしてほしい。

議会 信号機や横断歩道をお願いを県などに要請していきます。

倉見住民 倉見区内に指定避難場所を作ってほしい。

議会 きずな未来館、小中学校の体育館的な物について今後の課題とします。

倉見住民 空き家調査は

その後どうなっているか。

議会 持ち主の現状など個々に対応が違っていて難しいところです。柿園で一件家を壊してポケットパークを作りました

倉見住民 今西桂町で一番力を入れていること、目指すところは。

議会 西桂町総合戦略の中で人口ビジョンがあり人口減少について西桂町の現状を把握して行政側に提言をしています。

議会 西桂町総合戦略の中で人口ビジョンがあり人口減少について西桂町の現状を把握して行政側に提言をしています。

議会 西桂町総合戦略の中で人口ビジョンがあり人口減少について西桂町の現状を把握して行政側に提言をしています。

④ 上町地区

日 時：7月28日 会 場：上町公民館
参加者：23名



上町住民 タクシー券の支給はありがたいが、運転ボランティアやデマンドバスなどもう少し利便性、使い勝手の良い、高齢者、障がい者の立場に立ったサービスの検討を。

議会 実例を元に利便性が良くなるような検討をしていきます。

上町住民 民間のアパートを借りている子育て世帯に対して家賃の補助などインパクトのある施策をする人があるのでは。

議会 保育所では朝夕の延長保育がありフルタイム勤務の子育て世帯でも十分な保育時間となっています。

上町住民 街灯のLED交換ですが、契約を更新しないと電気が安くないがどのようになっているか。

議会 建設水道課に確認して、報告いたします。

議会 建設水道課に確認して、報告いたします。

⑤ 柿園地区

日 時：8月11日 会 場：柿園公民館
参加者：27名



柿園住民 太陽光発電パネルの設置について条例などは。

議会 景観条例の中に景観に対しての規定があります。条例を作ることは難しいが調べて報告します。

柿園住民 人口減少対策について策定した施策を具体的に聞きたい。

議会 子育て支援、学童保育の充実、空き家の活用など多岐にわたっています。

柿園住民 議会放映100万円はどこから出ているのか。

議会 議会費から出ています。他の施策にまわしたらという意見もあります。良い意見があります。たからお聞かせ願います。

柿園住民 下水道料金について他の意見提案は。

議会 簡易水道、下水道は別会計ということもありますが、これからの質問としてあげていきます。

福祉向上のため、的確、適正な 財政運営に努めていただくことを要望

一般会計賛成討論 渡辺 隆 議員



当町において、一般会計歳入は、前年度と比較して4億1780万3231円の増額で、対前年比19・8%の増加となっています。町税は、固定資産税の見直しにより減収はあるものの、町民税及び町たばこ税の増収により町税全体では前年度に比較して352万円、率にして0・84%の増収となりました。また、町税全体の収納率は92・9%で対前年度比1・7ポイントの増加となり、職員の徴収努力が非常に伺え、今後も引き続き努力していただき、税の公正、公平を元にしたゆまぬ努力を傾注して下さるよう大いに期待しています。

額となっています。加えて、財政調整基金及び庁舎建設基金への積立を行うなど、先を見据えた施策や幅広く各種事業を展開し、少ない予算で大きな成果が得られたことは評価できます。さらには、健全化判断比率等の財政運営の健全化を示す指標も、困難な社会状況にありながら、実質公債比率は6・4%で、昨年度比で△0・2ポイントとなり、昨年に引き続き、安定した数値を維持しており健全な財政運営の結果となっています。

今後も、引き続き町民の福祉の向上のため、限られた予算の中で職員一丸となって、的確・適正な財政運営に努めていただくことを要望し、平成27年度一般会計、歳入歳出決算認定についての賛成討論といたします。

経費見直しに努め、効率的、効果的な 行財政運営を進めるため、たゆまぬ努力を

監査委員報告 荒井義光 代表監査委員



審査の結果、審査に付された一般会計、特別会計、歳入歳出決算書及び付属書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数についても、関係諸帳簿及び諸書類と符合し正確であると認められました。また、基金の運用状況並びに事務処理についても適正であると認められました。

いは、人口減少問題や不安定な国際情勢に伴い景気は依然不透明であり、町税は横ばいとなっており、歳出全体では抑制されているものの、物件費、補助費、繰入金等の経常支出は増加しており、当町の財務状況は、依然厳しい状況にあると言えます。

歳出決算状況は、厳しい財政状況の中、補助金対象の事業の取り組みや有利な起債を選択するなど財源確保に注視しながら、引き続き有効な補助金等を活用し事業の執行をお願いします。

今後も急激に進む人口減少や高齢化社会に対応するため、財政運営にあたっては、自主財源の創出を図り、社会・経済の構造変化に柔軟に対応した「事業の選択と集中」を行い、さらに経費内容の見直しに努め、効率的、効果的な行財政運営を進め、たゆまぬ努力を傾注されるようお願いいたします。また平成29年度からは財務会計システムの変更を行う計画となっているが、今年度中の移行作業等、支障を起こさないよう努めて下さい。

簡易水道特別会計については昨年度に比べ配水量が大幅に増加しています。増加の要因としては本管の劣化による漏水や工事によるものであるが、引き続き計画的に漏水調査及び早期発見のための計器設置等の検討を行い、適正な事業を執行して下さい。

まとめとして歳入にお

安心で安全、住んでよかったと思える まちづくりに重点配分 **(きずな未来館建設・小学校食堂天井改修)**

公債費

4万2211円
 (構成比7.9%)
 (1億8902万円)



毎年度、償還すべき町債の元金、利子

その他

9万1568円
 (構成比17.2%)

(4億1004万円)

繰出金、維持補修費、
積立金、出資金・貸付金

投資的経費

10万8278円
 (構成比20.3%)

(4億8487万円)

建物の建設、
道水路整備、
大型備品の購入



**町民一人あたり
このように
使われました**

**平成27年度
一般会計決算**

**総額
53万4163円**
 (23億9198万円)



扶助費

4万3626円
 (構成比8.1%)
 (1億9536万円)



施設措置費、各種福祉手当
医療費手当等

補助費等

5万9136円
 (構成比11.1%)
 (2億6481万円)



他市町村との広域業務
負担、各種団体への
補助等

人件費

8万5438円
 (構成比16.0%)
 (3億8259万円)



主に常勤の職員の給与
町長、議員及び
各種委員等の報酬

物件費

10万3906円
 (構成比19.4%)
 (4億6529万円)



一般事務経費、臨時職
員賃金、業務委託費等

※ () 内は平成27年度決算額です。 ※一人あたり額はH28年4月1日現在人口4,478人で割った額。

基金(貯金) 一人あたり残高 38万1967円
 [17億1045万円・昨年度より5058万円減]

地方債(借金) 一人あたり残高 72万0380円
 [32億2586万円・昨年度より1426万円減]

※左記の額は一般会計及び特別会計の一人あたりの額です。

※地方債(借金)残高には、交付税算入基礎額として後年度に国が負担してくれる額が含まれているため、全てが借金とはなりません。



小林町長 行政報告

「きずな未来館」を利用し、 各種事業の展開を図る

いきいき健康福祉センターの介護サービス事業等の運営・施設管理の指定管理制度に向けて事務を進めてまいります。

「参画と協働によるまちづくり」

まちづくりを推進するため、町民活動団体や事業所等と町が協力・連携して行う「西桂町協働事業提案制度」は、町民グループと企業が提案した6案件を西桂町民総合調整審議会のご意見を伺う中で採択し、事業が行われたところであります。

「地域防災の推進」

去る8月27日に、当町

に甚大な被害をもたらす恐れのある東海地震の災害を想定した総合防災訓練を実施しました。今回の訓練を通じ、町民の防災意識の高揚が図られ、災害発生時に落ち着いて的確な行動が取れるよう、また、避難所の様子を体験することにより、実際の避難所生活での不安、

「子育て支援の推進」

ストレスを抱えない為の訓練となったものと考えております。

出生祝金の支給事業は、その子どもの出生を祝い、乳児の健やかな成長を願うとともに、定住促進と町の活性化に資するため、昨年までは第3子以降の出生があつた場合10万円を支給してまいりましたが、当町の出生率が2人

「高齢者福祉・障がい者福祉の充実」

に満たないことを鑑み、今年度4月より第2子に対し5万円の支給を開始しました。

交通手段のない高齢者や障がい者に対し、通院・買い物などを目的に公共交通（タクシー）利用料金補助事業を平成28年1月から3月まで実施しておりますが、今年度4月より65歳以上の一人暮らしや日中独居等の高齢者より60件の申請をして頂き、移動支援でお困りになっている方の支援に努めております。

「地域福祉の充実」

町民の皆様に対し今以上のサービス向上を目指すにあたり、介護サービ

スの充実と健全経営、新たな介護サービス等への展開、多岐に渡る福祉施策を推進していくことを目的に、いきいき健康福



多くの町民が参加して行われた総合防災訓練



三ツ峠登山道を清掃する多くの皆さん

社センターに対する指定管理制度を導入し、10名の選定委員を任命し、諮問をおこない、先日選定委員会委員長より答申をいただく中で、選定に当たつての経緯と選定理由の報告がありました。今後は、今定例町議会にお諮りし、議決をいただき、協定書等細部にわた

「緑に親しむ空間の形成」

る協議を経て、平成29年度4月からの指定管理に向け事務を進めてまいります。

去る8月6日、富士山クリーン作戦の一環として実施しました三ツ峠登

山道及び三ツ峠グリーンセンター周辺清掃活動には、多くの関係団体から総勢179名の方にご参加いただき、心より感謝申し上げます。今後も地域と一体となつて、清掃や環境美化の啓発活動に取り組んでまいります。

「観光の振興」

8月15日に開催した三ツ峠ふるさと夏まつりは、西桂町の産業や観光の振興を図り、また、生涯学習の成果を多くの人々に発表する機会として開催しておりますが、今後も夏まつりを通じてふるさと西桂の情報発信を図り、町民の連帯感と今後の町づくり推進機運が醸成されるよう今まで以上に商工会と協力する中で取り組んでまいりたいと考えております。

「防犯活動の推進」

町内防犯灯のLED灯への交換事業は、去る8

月8日に本年度取替予定の150灯の灯具が納品され、町内の電気工事業業者にお願ひして交換事業の発注をしたところであります。来年度に予定している残り134灯の交換により、町内全てのナトリウム灯がLED灯に替わることとなります。

「道路及び橋りょうの整備」

柿ノ木3号線簡易舗装工事は、全児童の約7割が登校に使用している重要通学路でありますので、転石等による児童の通学時の危険を防止したところであり、夏休み中の工事完成により児童の不都合を解消したところであります。

「水道・下水道事業の推進」

下水道事業においては、第2処理分区、上町地内において4本の工事を施工しております。また、水

道事業も、下水道工事に合わせそれぞれの地域で水道取出し工事を予定しているほか、昨年10月に漏水で住民の皆様にご迷惑をおかけしました役場裏の三ツ峠線配水管布設替工事を今月初旬に発注し、11月末完成予定で進めております。

「生涯学習の充実」

西桂町まちづくり交流



今年もにぎやかに開催されたふるさと夏まつり

センター「ぎずな未来館」は、8月末までに延べ1万人を超える多くの方々にご利用していただいたところであります。リニールを契機に更なるサービスの向上を図り、町民の皆様が生き生きと活動するため、利用しやすい、魅力ある町民活動支援型施設となるよう、各種事業を展開するとともに施設運営に取り組んでまいります。

平成27年度一般会計決算

9月定例会

9月定例会は平成28年9月9日に招集、同日に本会議が開催され20日間の会期を決定、この後、会期中に各常任委員会審査会が開催される中、16日及び28日の本会議での採決をもって閉会しました。

町長より条例2件、その他議案1件、補正予算3件、決算認定7件、同意2件計15件、議員より発議1件が提案され、全ての議案が全員賛成にて、原案のとおり可決・認定・同意されました。

一般会計決算

●主な委員質疑、歳入

問 滞納については努力して頂き極力徴収していただきたい。

税務住民課長 今は過去の徴収を整理するため搜索という行為と執行停止という行為を検討中で現在は交渉中です。

問 町営住宅の使用料徴収の現状は。

建設水道課長 長期にわたり滞納している方に対し、

し、当町のような小さな自治体では、強制徴収に踏み切るの難しいですが、所在もわかつているので接触していきます。

問 グリーンセンターの思い切った施策を考えて有効活用して頂きたい。

町長 十分注意して修繕など対応にあたります。施設の工夫もして、集客を図っていくことを提案していきます。

●主な委員質疑、歳出

問 各区の区長や各種委員の手当や報酬の見直しは。

総務課長 行政としては全課長幹部が集まり現在の各種委員等の報酬について協議を始めたところです。65すべての委員会の例規の見直しを始めました。厳しい現状ですが、報酬なども見直しを行っていくということでご理解をお願いします。

問 施設介護を要望している現状は。

福祉保健課長 特養等への入所待機者については今現在でも200人とか300人と伺っている状況です。

意見 施設介護は相当高額な経費がかかります。25年問題も出てくるので、今から対応を取って頂きたい。

問 汚泥の投入量は減っていると思うが負担金と共同事業運営は。

産業振興課長 下水道の接続整備等により年々確



ふるさと夏まつり2016でダンスを披露するチビッコダンサー

実に減少してきております。負担金についても処理量に応じて負担しますので年々減少傾向となっています。

問 粗大ごみ搬入所の尾尻は入り口を広くしたほうが良いのではないか。

産業振興課長 入り口に

については調整しながら今の大きさになってます。交通誘導なども含めて持ちよく利用して頂けるように検討します。

問 鳥獣の被害がたくさん出ている。来年度に向けて補助率及び限度額の引き上げは。

歳入総額 25億2554万円
歳出総額 23億9198万円
差引き額 1 億3356万円



中学生ボランティア参加による桂川公園清掃

産業振興課長 現在、材料費に対して2分の1、50%の補助基準です。補助率の見直しは、他の市町村などを参考にしていきます。

問 ふるさと夏まつり補助金は花火の予算か。

産業振興課長 300万円が花火代となり残りは必要経費、テント、ステージ等に使った経費で全額が花火ではありません。イベント用に半分以上使っております。

問 入田団地の用途廃止の進捗状況は。

建設水道課長 入田団地については、25年、26年で屋根の改修を国庫補助で行いましたので、その後10年間は用途廃止が出来ない状況です。

問 学生のボランティアと職員と一緒に掃除しているのが1年に1回ですが、予算を取って定期的に池をきれいにするなどのきれいな公園づくりに努めては。

建設水道課長 来年度の予算の中で教育委員会と検

討していきます。

問 災害対策備品購入費は実際何人位の方が避難して何日程度の食料が確保できているか。

総務課長 県防災計画の中では390名程度避難と想定しています。その中で400名分をランニングスストック方式で備蓄をしております。備蓄の量は400名の5日分です。

問 中学生にパソコンや他の資格を取らせるために受講料や受験料の予算を取っては。

町長 例えば中学校3年生で例として英検3級とかの時代です。特色ある学校づくりということで考えていかなければならないと思っています。

問 きずな未来館が日曜日、休館で利用できなかった。一般の人は日曜日でもボランティアでやっている。日曜日休館だから貸さないというのはおかしいのでは。

町長 きずな未来館を使う時にはあらかじめ予約して、警備員、担当者がい

た場合は貸すことになっていきます。

問 教育費の不用額が今年も1100万円、昨年度も1000万円強あります。子供たちのウインタースポーツ推進は。

教育長 ウインタースポーツに不用額を使ったらどうかという話ですが、検討させていただきます。

問 大規模災害があった時に基金の取り崩しというのは出来るものか。

総務課長 財政調整基金で基本的には災害の対応用に積み増しをしているところです。

平成27年度 6 特別会計決算

国民健康保険特別会計決算

●主な委員質疑

問 基金、概ね5000万円は必要の範囲と考えていますが来年度に向けて国民健康保険税をどうしていくか。

〔税務住民課長〕

来年度に向けては経済的弱者が多い国保ですのでそこも十分鑑みながら少しでも繰越金が増えるように被保険者のご理解を得ながら



きれいにみがけたかな（むし歯予防教室）

介護保険特別会計決算

問 介護保険の基金の積立は将来何に使うのか。

〔福祉保健課長〕 余剰金が生じたとき、今後介護保険における人数の増加、介護度が高い方が増えた時に介護給付費の予算が不足した時に取り崩して充当します。また、介護保険料が改正されたときの充当としての取り崩しなどに使われるために積み立てています。

問 過去に基金を設けたことはあるかまた、なぜ今年基金ができることになったのか。

〔福祉保健課長〕 基金の積立は、3年に1度介護保険計画の見直しと介護保険料も一緒に見直しします。その時に備えて余剰金などを基金にまわして介護保険会計が順調に、予算の範囲内で出来るよう積立てをしてきました。

簡易水道特別会計決算

●主な委員質疑

問 今年は、3か所の漏水工事を実施しており、有収率が悪化した理由は、

〔建設水道課長〕

大規模な隠れ漏水が発生したことによるものです。役場裏の漏水、下暮地公民館付

〔意見〕 均等割を上げるということは弱者負担が大きくなるので、是非慎重に、国保運営委員会で審議して頂きながらこの危機を乗り切って頂きたい。

近での地下浸透による漏水、柿園ミツウロコ付近の漏水等により年間配水量が大きく増えてしまつたことです。

〔意見〕 地下に浸透してしまふ漏水が多い。その情報を早く聞きつけて早く手当てをすれば、電気料や滅菌料などすべての物が減少するので情報の入手についての周知をお願いします。

問 過日倉見の県道718号で、配管が老朽化していたということでした。仕事の仕方に信頼性をもつてやって頂きたい。

〔建設水道課長〕 倉見の県道の件は、最初の時は漏水調査しましたが、塩素が出ず水路の水が水道のものなのかわりませんでした。倉見の場合、区民の共同作業で埋設したため、町の台帳と図面が合っていないこともあり、なかなか発見が出来ませんでした。今回の時には塩素が出たので作業したところです。

問 維持管理費の上町の

平成27年度6会計決算額

全員賛成

会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額	平成28年度へ繰り越す財源	実 質 収 支 額 (実際残る金額)
国民健康保険特別会計	5億7005万円	5億4152万円	0円	2853万円
後期高齢者医療特別会計	6919万円	6911万円	0円	8万円
介護保険特別会計	3億5518万円	3億1938万円	0円	3580万円
介護予防支援事業特別会計	72万円	70万円	0円	2万円
簡易水道特別会計	7197万円	6930万円	0円	267万円
下水道特別会計	1億8007万円	1億7801万円	0円	206万円
合 計	12億4718万円	11億7802万円	0円	6916万円

(1万円未満四捨五入)

下水道特別会計決算

● 寿クラブの清掃ですが、12万円の内訳は、建設水道課長 年間2回

で1回6万円ということ。概ね10名ほど参加があります。

● 主な委員質疑

問 樹までの自己負担のお金を用立てる時間も十分に取れその間に担当課で説明して下水道事業が環境美化などの面で生活していく基盤として価値のある事業であると納得して頂く中で、つながないときは受益者負担金を払って頂くと周知をして、受益者負担金の収入未済額は無くして頂きたい。

建設水道課長 今までのように、説明を一度で終らせるのではなく、今回からは広報誌、ホームページを使いながら町民の皆様にご理解頂けるようまた、町民の中に不公平感がなくなるように努力していきます。

問 下水道を引いた人と引かない人の比較は。

建設水道課長

年度末の説明会で説明している内容ですが、下水道に入っている方と未接続の方で維持管理費の比較ですが、西桂町の各世帯の平均値として2カ月で60㎡使用と仮定した場合、水道料は2カ月で約4千円、下水道は約6千円となり、年間換算で水道料が2万4千円、下水道が3万7千円、合計6万1千円となるのに対し、単独の浄化槽を設置している世帯では水道料は2万4千円、ブロワの電気代が年間1万2千円、他浄化槽の維持管理費が2万円を超えています。浄化槽の法定検査料が年間4千円。合計で6万2千円程度になります。また合併処理浄化槽を設置している世帯では水道料、2万

4千円、ブロワ代1万2千円、浄化槽の法定検査料4千円、維持管理費2万7千円、合計、6万7千円ほどになります。下水道接続が6万1千円に対し単独浄化槽6万1千円、合併処理が6万7千円ということ。下水道の方がほぼ同じか逆に安いということ。また周知やPR、広報誌等を使って説明をしていきたいと思っています。

問 普及率向上の見込みは。

建設水道課長

普及率を地区別に見ると現在進行形の本町、上町地区は除いて、柿園地区が84・8%、下暮地区が82・2%となっており、倉見地区が68・3%と低い数字にとどまっております。倉見地区の接続率が低い原因として、旧家が多いことが要因かと思っております。また、国土交通省の事業の進捗率が全国的に上がらないということ。国土交通省の公共下水から農水省の農

業集落排水とか環境省のコミュニティプラントなどに移行したらどうかという計画があり、当町もアクションプランといったものの中で、下水道への認可区域を下げて農水省の農業集落排水などに移行した方がいいのではないかと、そういうことを踏まえ実施していきたいと思っています。

平成28年度一般会計補正予算(第2号)

●主な委員質疑

問 災害対策の補助金は毎年補助するのか。

総務課長 要援護者に対する取り組み、地図等も毎年作って頂いておりますが、その二つを実施した場合に毎年補助をしていきます。

問 福祉タクシーの実績の中で半年で30人の増となり、行政は現状をどうとらえているのか。

福祉保健課長 今後利用者や町民の意見を聞きながら改善、改良を重ねていきたいと思っております。

このタクシー券だけで移動支援をすべて賄うのではなく、それに代わるものも考えていこうと思います。

意見 もう西桂町は買い物難民の地域になっている。お年寄りが不便に生活されているところの一つだけの環境でなく

総合的にお年寄りの環境を構築して頂きたい。

問 鳥獣の柵について現状は場所に苦慮しているのか。

産業振興課長 実際に尾尻地区で周りの方に話をして実施してみたいという方、町で協力して取り

まとめをしてみたい、という方がいるので準備をしているところです。

問 火の見やぐらの塗り替えで、費用負担は。

総務課長 相談がありましてので今回補正をしております。あくまで消防団がそこを改修する、消防の用に供する施設を改修するという事で消防団から申請を頂いて2分の1の補助金を出していきます。

問 特産品開発推進会議補助金の詳細は。

産業振興課長 特産品を開発したい団体があり、いろいろなものに挑戦したいという趣旨の団体

で、昨年ふるさと納税の中から25万円を補助金という形で出しています。

問 クマガイソウ群生地のセキユリティのことを一緒に考えたらどうか。

産業振興課長 管理上鍵の管理も必要ですのでもう一度見直しまして持ち主を特定して鍵を変えて管理しております。

問 小学校体育館の利用者団体から出入りが不便という話。その改善策は。

教育長 正面玄関に入るところの鍵が団体が数多く使うことにより、うまく出来なくなりました。それを中から閉めて裏口へ回って、そちらの鍵を利用しているということ

は聞いておりますので、これについては鍵を他の方法で出来ないか検討させていただきます。

平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

●主な委員質疑

問 高額医療費ですが大幅な補正が発生したのはいかなる起因か。

税務住民課長 新薬の承認等で12月位から2月に

かけて全国各地で医療費が急増しており、国保連合会から昨年度の急増分が反映して拠出金の補正となりました。

り入れ金1千円を計上しないで、ここは国保の一般財源、税で充当するということを検討していただきたい。

意見 一般会計からの繰



アクティブクラブ健康体操で健康維持

9月定例会・条例改正

賛成全員

条 例 名	主な内容
税条例の一部改正	台湾との民間租税取り決めにより地域で経済活動を行い、配当・利子・使用料により所得が発生した場合に、課税される税率を10%に引き下げる。
国民健康保険税条例の一部改正	特例適用利子・配当等にかかる国民健康保険税の課税の特例が追加され、当該利子・配当等の所得を、所得割額の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含める。

平成28年度補正予算額

賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
平成28年度一般会計補正予算(第2号)	119万円	22億3190万円
○歳入 母子保健衛生費補助金9万円増額、繰越金110万円増額 ○歳出 地域おこし協力隊運営費173万円減額、介護保険特別会計繰出金51万円増額、介護予防生活支援事業費56万円増額、農業関係職員人件費45万円減額、営農指導費25万円増額、登山道整備費27万円増額、常備消防経費64万円減額、消防団運営経費15万円増額、災害対策経費50万円増額、小学校施設管理費84万円増額、中学校校外指導・生徒派遣費40万円増額		
平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	1194万円	5億4191万円
○歳入 国庫負担金281万円増額、国庫補助金69万円増額、県負担金281万円増額、共同事業交付金563万円増額 ○歳出 一般管理費69万円増額、共同事業拠出金1125万円増額		
平成28年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	990万円	3億4688万円
○歳入 介護保険事業補助金51万円増額、一般会計繰入金51万円増額、繰越金888万円増額 ○歳出 一般管理費102万円増額、国庫支出金等償還金888万円増額		

(1万円未満四捨五入)

議会に届いた請願書と処理状況

賛成全員

下記請願は採択と決し、平成28年9月28日付けにて、請願の趣旨に基づき関係機関に意見書を提出いたしました。

件 名	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
請 願 者	南都留地区PTA協議会、南都留地区公立小中学校校長会、南都留地区公立小中学校教頭会、山梨県教職員組合南都留支部
請願の要旨	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充が図られるよう、国の関係機関に意見書を提出すること



公平委員

相澤 勇 委員(本町)



教育委員会委員

滝口敏美 委員(上町)





一般質問

瀧口幸男 議員

問 人口減少問題への取り組みは

答 「町総合戦略実施計画」を作成し実施

瀧口議員

小林町長の就任時、平成24年12月1日現在、4709人、本年28年7月1日現在4471人。238人の大幅な人口減少になっている。人口は、行政の安定基盤であるがその対策は。

町長

今年3月、町人口ビジョンで将来目標人口を設定し、目標人口を達成するため、平成31年度までの5ヶ年計画の「町総合戦略」を作成しました。人口減少に対応するため、多面的に研鑽を行い、少子化、人口減少は避けられないということを常に基本認識とし、人口減少が社会経済に及ぼす悪影響や、人口構成の変化による社会の歪みが生じることに対応するため、町総合戦略を実効性のある計画とするため、「町総合戦略実施計画」を作成し実施しているところです。

問 倉見山東京電力水路の取り組みは

答 町職員を同行させて現場施設の安全性について確認

瀧口議員

倉見山東京電力水路について相当危険な水路と聞いている。いつおきるかわからない災害時の、地域住民の命と財産を守るための取り組みは。

町長

東京電力水路の概要は、大正年間に建設を開始し、西桂町を通過している延長は2,056mとなっております。

東京電力の説明は電気事業法や河川法などの各種法令に定められた諸基準に基づき、3ヶ月に1度の定期巡視、この巡視では目視を主体に設備の変状・損傷の進行状況や新たな変状・損傷の有無の確認を行い、1年に1度の普通点検では水路の外部から設備の変状・損傷の状態を測定や計測により点検を行い、3年に1度の精密点検では水路の水を抜き、内部からコンクリ

ートの変状・異常の状態を計測や測定により点検を行うとともに、震度5弱以上の地震発生後や台風後に、設備の異常の有無を確認する臨時巡視を実施しているとのこと。

引き続き設備の保守点検や改修についてお願いしていくと同時に、今後は水路の水を抜いて内部の変状・異常の状態を計測する精密検査及び設備診断・調査等に町職員を同行させて現場施設の安全性について確認をさせていきたいと考えております。

問 保育園児に対して英語教育の推進としては。

町長

今後、保護者と連携し、家庭でも英語に触れられるよう協力を求め、保育所では低年齢の園児達にも英語に親しむことができるよう取り組んでいきたいと考えています。



一般質問

郷田和美 議員

問

活力あるまちづくりを進めていくための基本的な方針は

答

協働の精神で実行に移す取り組みを進める

郷田議員

当町が活力あるまちづくりを進めていく基本的な方針については、新しい切り口と視点を持つた発想の転換と創造力が重要だと考える。町を活性化させようというポテンシャルはこの

町村にもあり、実現できるかは多くの熱い思いをまとめ上げることの出来る実行力が求められているが、ご所見は。

町長

私は、就任以来「融和と公正」を基本姿勢に、「参画と協働」によるまちづくり「安心できる子育て環境の創出」「健康・医療・福祉の連携したまち」「災害に強いまちづくりの推進」「環境保全・環境型社会の構築」に取組んでおります。

活力あるまちを続けるには、若者の地域定着や移住の促進が重要なポイントと考え、今年度

より地域おこし協力隊を任命し、三ツ峠や水資源を含む新たな資源の掘り起こしを開始したところ です。

まちづくりには正解など決してなく、町民の皆様の想いから出発して合意をつくり出し実現することが必要であります。

リーダーシップとは、議会を含めた町民の合意を作り出すのがリーダーシップであり、私の役割であると考えます。今後は、実務的な研究会やワークショップ等を立ち上げ、提案をしていただくとともに協働の精神で実行に移す取り組みをしてまいります。

問

企業版ふるさと納税制度への取組は

答

恵まれた自然環境、水資源等を保全し活用する事業等の推進

郷田議員

平成28年度の税制改正において地方創生応援税制が創設されている。

当町における企業版ふるさと納税制度への取り組みは。

町長

地方創生を実現するためには、産官学金労言(産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア)をはじめ、各界各層の参画と協力の下で取り組みを進めていくことが必要です。中でも、産業界(民間企業)の役割は非常に大きいものがあります。こうした考え方に基つき、民間企業の皆様から積極的に寄附を行っていただけるよう、平成28年度税制改正において、地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)が創設されました。

この制度は、地方公共団体が、「まち・ひと・しごと創生寄附

活用事業」を企画立案し、企業に相談を行い、企業が寄附を検討し、協議が整った時点で、地域再生計画を内閣府に申請し、事業認定を受け公表し、他企業も、寄附を検討します。

地方公共団体は、認定を受けた事業を実施し、事業費を確定させ、この時点で、企業の寄附額が決定し、寄附を歳入します。

議員ご指摘のとおり、現在この企業版ふるさと納税制度は全国で102事業が政府の認定を受けており、今後も内閣府は、申請受付を行って行くこととなっています。

当町としては、特色ある、地域貢献や企業のイメージアップに繋がる企画立案し、当町の恵まれた自然環境、水資源等を保全し活用する事業等を考えております。



一般質問

小山正則 議員

問

町政担当4年間の総括と、任期満了後の対応は

答

人生の選択を力を振り絞り、腹をくくり取り組むことを決意

小山議員

町長の任期が11月24日をもって任期満了となる。

小林町長は、就任以来、「融和と公正」の基本姿勢を堅持する中で、参画と協働によるまちづくり、安心できる子育て環境の創出、健康・医療・福祉の連携したまち、災害に強いまちづくりの推進、環境保全・環境型社会の構築等、町民の提案を実現するための努力をして来られた。また、地方創生の総合戦略策定や長期総合計画の見直し等、多くの計画策定に積極的に取り組まれ、その実行段階に入っていると思う。

今、少子化や高齢化が本格化し、厳しい社会・経済状況の中で、地方自治体を取り巻く環境も大きく変革しており、少しの政治空白も許されない状況にある。

次期町政運営についてどのよ

うに考えているのか率直なお気持ちをお聞かせいただくと共に、町政担当4年間の総括と、任期満了後の対応は。

町長

今後とも郷土西桂町のため、山積する諸課題の解決にひたすら専心してまいります。

本年3月、町の将来像の実現に向けて、町全体の施策を集約した、「西桂町第5次長期総合計画・後期基本計画」を策定するとともに、これを踏まえた上で、さらに地方創生に係る特定の施策を掲載する「西桂町総合戦略」を策定し、相互に連携づけて実施することといたしました。

今後は、①安心して子どもが育つまちづくり②誰もが暮らしやすいまちづくり③訪れ住みたくなる魅力あるまちづくり④地域を興す活力のあるまちづくり等、総合戦略の基本的な課題と政策の方針を着実に実行してい

く所存であります。

これらの計画の根底に流れる理念は、いずれも「持続可能社会」であります。

今後も「公平・公正」を基本姿勢に、参画と協働によるまちづくりの手法により、西桂町らしい地方創生を目指してまいります。

今後の町政運営は人類史上のとも言える少子・高齢化の変化の中で幾多の困難を乗り越えていかなければなりません。困難へと向かう人生の選択を、力を振り絞り、腹をくくって取り組むことを決意し、町民の皆様のお許しをいただけるならば、ぜひ引き続き町政を担当させていただきますと思います。

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その66



毎週楽しくスポーツしています。

訪問先 怒羅衛門 ドットコム

代表：権守 正弘

取材日：10月6日
渡辺議員

問 団体名は。
皆さん 怒羅衛門ドットコムです。

問 代表者のお名前は。

皆さん 小山田孝さんです。

問 名前の由来は。

皆さん メンバーで決めました。

問 設立は。

皆さん 平成13年頃です。

問 会の活動目的は。

皆さん ソフトバレーを楽しみながら健康維持し、皆との交流を深めるためです。

問 活動内容は。

皆さん 毎週木曜日、午後8時30分から中学校体育館で活動していて会員は15名です。

できれば会員がもう少し増えればと思っています。

問 一年間の活動は。

皆さん 富士吉田市で年5回くらい開催される大会に参加しています。

近年は、飲み会などは、少なくなりました。

問 今後の目標は。

皆さん 2チーム作り、

大会に出場してよい成績を上げたいです。



それアタック！！

保育所運動会を見学しました

取材日：10月1日 小山議員



みんなでよさこいソーランロックを踊りましょう！



さあー
火のまとに
あたるかな



はい、バトン
わたすよ、
ガンバって！



発行責任者
西桂町議会議員 岩田 裕展
編集委員長 渡辺 隆
副委員長 横田 則夫
委員 井上 秀樹
委員 小山 正則
委員 瀧口 幸男

議会の傍聴をお願いします。
次回定例会は12月上旬です。
詳細は12月2日頃、
ホームページにて公表します。



素敵な金メダルを取ってね！